

まほう

2012 JANUARY

NO. **40**



特集

交流活動・感染症対策
はたらく
余暇活動

報告

防災訓練
法人職員研修

お知らせ

第19回焼津福祉会作品展



ワークすばる利用者



元気に3B体操

大井川寮では6月から月に一回、機能回復や心身のリフレッシュのために、講師の方を招いて3B体操を始めました。

3B体操というのは年齢性別に関係なく障害のある方も楽しめる体操です。心地よい音楽が流れる中でストレッチを行い、時には体を動かしながら歌を唄い、楽しい雰囲気で行っています。ストレッチは、日常動かさない部位に負荷が掛かるため「痛い…」「気持ちいい！」など、様々な反応をおこしますが、みなさん笑顔で活動に参加しています。

大井川寮



トランポピクス発表会 「継続は力なり!!」

トランポピクス教室へ通い始め6年が経過しました。最初は、トランポリンの上をウォーキングできなかった利用者さんも、今では数々のダンスやステップを覚え自由に踊れるようになりました。発表会に参加することを楽しみに、日々練習に励んでいます。今年の発表会では、長年の取り組みを高く評価いただき、静岡県女子体育連盟から表彰されました。表彰という形で評価を受けることで今後の励みになりました。



放課後児童クラブ



子どもたちの楽しみの一つに公園への散歩やドライブがあります。

公園では、地域の子どもたちと一緒に遊具で遊んだり、鬼ごっこなどを楽しんでいます。初めて会ったとは思えないほど、うちとけ笑顔で遊んでいます。公園は、子どもたちの新しい顔を発見できる場でもあり、地域のみなさんと触れあえる場でもあります。



色えんぴつ・くれよん

余暇活動

虹の家

交流活動 ポプラ学園

ポプラ学園では2年ほど前から行事や活動をとおり、養護老人ホーム「慈恵園」の利用者さんと交流しています。今年度は親子運動会の時にゴールテープを持つお手伝いをしていただきました。

練習の時から参加していただき、子どもたち1人ひとりに優しく声を掛けてくれたり、一緒に体操をして楽しいひとときを過ごしました。



日中の活動では、うさぎ組の子どもたちと一緒に散歩に出かけました。子どもたちはうれしそうに手をつなぎ、途中で鳥やきれいなお花を見つけると指差しして一生懸命に話しかけていました。

核家族世帯の中で、普段高齢者と関わる機会が少ない子どもたちにとって、とても貴重な体験になります。これからも様々な活動をとおりて交流を続けていきたいと考えています。



感染症対策 養護老人ホーム「慈恵園」

感染症予防対策で一番大切なことは「手洗い・うがい」です。手がウイルスで汚染されていると触れた所へウイルスが広がり、あっという間に感染が成立してしまいます。高齢者は免疫や抵抗力が弱い為に感染しやすい状態にあり、特に気をつけなければなりません。そこで慈恵園では年に二回、特別なライトをあてると洗い残しが光り、チェックできるクリームを使用して「手洗い教室」を行っています。洗い残しを目で確認する事ができ、手洗いの不十分な箇所を知ることができます。職員も外からウイルスを持ち込まない為の対策として、チェック表を用いた衛生管理や施設内の消毒を毎日行っています。今年度は新たに玄関と静養室に手洗い場を設置しました。

利用者、職員共に正しい手洗いを行い、感染症が発生しないよう気をつけていきたいと思います。



1回目の手洗い



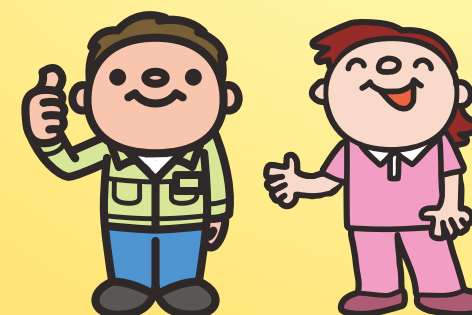
2回目の手洗い



右手甲が洗えていない

はたらく

“働く利用者さん”を紹介します。



就労
すいせん

生活介護
すいせん

生活介護では、DVDケースの解体作業や、リサイクル資源の仕分け作業を行っています。この作業をとおして業者の方にきちんと挨拶をしたり、会話をして楽しんだり、社会性を養う良い機会にもなっています。



就労継続では、施設外就労で、週に2回、焼津市内の特別養護老人ホームの車椅子の清掃を行っています。施設内の下請け作業は、野菜の皮むき、乾物の袋詰めや商品詰め合わせの包装などを行っています。21人の利用者さんで、分担して全ての企業の納期に合わせられるよう、頑張っています。



創作活動を通して興味を持ったものを制作しています。1つひとつ丁寧に作り上げ、色合いやラッピングにもそれぞれ個性が表れたものばかりです。この製品は、ウェルシップ2階「希望の輪」で販売しています。

花・はな



ゆたか



毎年、年末にお正月飾りの「凧」の制作をしています。柄は2種類、招き猫と干支のイラストです。

作業はステンシルで行います。招き猫は各部によってテンプレートを交換し、コツコツと作業を進めていきます。工程が進むにつれて可愛い顔が浮かび上がってきます。干支のイラストは利用者さんがそれぞれ好きな色の絵の具を選び、様々な雰囲気を持ったものが出来上がります。

製品は市内のワークショップで販売しています。

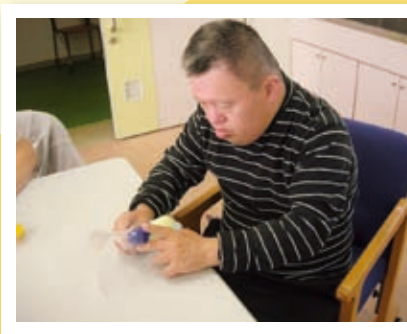
ゆりかもめ



布を切る



布を縫う



ラッピング

ワークすばる

平成23年8月より、焼津市にある(株)駿浦亭に週2回の施設外就労に出向き、大広間や廊下の掃除機がけや畳拭き、トイレ掃除を毎回4名の利用者さんがローテーションで、作業に取り組んでいます。

清掃作業は畳の目に沿ってていねいに行うことや、用具をきれいにまとめて返却することです。時間内に終わるよう全員で協力しながら行います。作業以外にも、ホテルのスタッフの方々やお客様にしっかりと挨拶を行うことで、マナーを身に付ける機会になっています。



防災対策委員会設置

昨年3月11日に発生しました東日本大震災は、かつてない被害をもたらし、復興には膨大な時間を要するものと思われます。35年前に駿河湾沖を震源とする東海地震説が発表され、私たちの住んでいる静岡県は全国に先駆けて自主防災組織の確立や防災訓練の強化がなされてきました。最近では東海地震、東南海地震、南海地震が連動して起こる可能性も指摘され、今まで以上に危機意識を持った防災への取り組みが急務となりました。

当法人ではこれらのことを受け、防災対策委員会を設置しました。これまでは当法人が運営する12施設がそれぞれに防災マニュアルを作成し、利用者さんの安全確保や防災訓練等を行ってきましたが、この委員会において各施設の防災マニュアルを見直し、施設間の連絡体制の強化、情報提供や研修等により防災知識の習得や意識の向上も図っていきます。

焼津市は東海地震の想定震源域にあり、津波や地盤の液状化も予想されていますが、そのような状況の中でも利用者さんの安全を確保し、被害を最小限に抑えることができるよう法人全体で防災に取り組んでまいります。

3 施設合同防災訓練

10月18日(火)にウェルシップみおし館内施設(法人本部・ワークすばる・虹の家・ポプラ学園)において巨大地震発生の後、大津波警報が発令されたことを想定した避難訓練を行いました。1階と2階にある施設においては利用者の皆さんは職員の指示のもと3階に避難しました。初めての試みでしたが、3階会議室や相談室・廊下など限られたスペースを使用し各施設同士が連携し、円滑

に避難を完了することができました。今後もより一層防災意識を高め、様々な場面での臨機応変な対応や利用者さんの安全確保を徹底していきたいと思います。また、災害時には必ず必要となる水・食料・簡易トイレといった備蓄品の管理においても定期的な確認や事前の準備を忘れずに行っていきたいと思っています。



防災訓練



地域防災訓練(グループホームすびか)

グループホーム「ケアホーム」すびか」の入居者さんは、地域防災訓練に参加しています。夏の訓練中の出来事ですが、入居者さんが発作を起こしました。近所の方が担架で木陰に搬送してください、お医者様がバイタルチェックをしてくれ他の入居者さんをホームまで誘導してくださいなど、沢山の支援をしていただきました。この事によって、私達のホームで生活をして

いる方を知っていただき、私達も地域の方々を知る機会となりました。日頃の生活で、お互いに気にかけてもらえる存在になっていかなければならないと思います。実際に災害が起こった時にも「あの施設の人たちはどうなったのか」などを考えてもらえるよう、今後も地域との関わりを大事にしていきたいと思います。

法人職員研修

平成23年10月20日

テーマ

「運動と交流による抗ストレス作用」

講師
静岡福祉大学社会福祉学部
健康福祉学科 齋藤剛氏

研修の前半は、人間は常にストレスにさらされているが慢性ストレスが健康に及ぼす影響として、ストレス物質が脳(海馬)を破壊するとの研究から、どのように慢性ストレスに対抗すべきかの対処方法を最新のデータを元に、2つ紹介していただきました。1つは、有酸素運動を行うことで、適度な刺激を脳に与えることが出来る。その結果、海馬の神経新生が増え認知機能を向上させたり、うつ病



を改善することができる。高齢者であっても有酸素運動で海馬の体積が増加することが示されていること。もう1つは、社会との関わりを多く持つ。社会的なかわりが多い人ほど、風邪を引きにくかったり、高齢者を対象とした研究では、記憶力の低下が低くなった。ストレスイベントが起こった時、話を聞いたり、たすけたりしてくれる人がいる人とそうでない人では心身の状態が変わってくるのが科学的に証明されるようになってきたことを、分かりやすく講義をしていただきました。

後半は講義を元に、ストレスを乗り越え、海馬の機能を向上するように、みんなで交流を図りながら、体を動かしました。

みんなの心

《寄附金・寄附物品(協力者)》
明(心)社会(心)運動焼津地区協議会

アプレシオ

池ヶ谷操

池谷和彦

石津里枝

石野廣秋

石綿静子

板橋精機(株)

いづみ屋

梅原吉弘

海老岡里巳

大畑幸子

小柳津昌子

川口呉服店

木村蔵

小池美和子

孝道山マイトリ委員会

篠原智子

(有)島活会館フンカ

中野祐二

鈴木春子

長岡医院

仁科さとの

日本NPOセンター

廣田一也

藤枝特別支援学校

藤原銀次郎

マルサ洋服店

見崎平八

港公民館

村本慶枝

森直子

焼津市仏教会

焼津市竹芸クラブ

焼津ボーテクラブ

山田篤史

山田しず江

横山花園

和洋菓子ヤマカワ

《ボランティア》

青木恵子

明(心)社会(心)運動焼津地区協議会

朝倉美紀

有ヶ谷晴代

石井秀一

石川志郎

石田勝英

石野邦代

池谷あや乃

池谷佳代子

伊東夏子

岩崎兆秀

大塚恵利奈

大橋道代

大村公民館民謡教室

小川昌美

落合圭子

掛川新緑会

片山さち枝

河原崎秀子

紅林有子

けい美容室

小坂橋道代

孝道山マイトリ委員会

後藤恭子

小林美紀

佐藤忠男

佐藤秀天

佐藤文雄

静岡家庭教育サポート協会

静岡銀行黒潮会

静岡福祉大学 武藤ゼミ

杉村仁美

杉山安代

鈴木恵子

鈴木幸江

鈴木幸子

田中操

田村彩華

小さな歌の会

塚崎喜美雄

戸塚英子

中野富士恵

中村美紀

法月明子

原川洋子

原崎洋子

原田正代

ひまわりの会

ビューティー・ハラキ

深見和子

福昌院 浜田健士

藤田小夜子

ボランティア21

増田龍二

松永静彦

松永洋子

松永良子

丸山早紀子

水野安代

みやじま幼稚園 年中児女児

三輪淑乃

村松あずさ

村松江一

村松康子

望月美代子

森野悠朴

焼津市第六自治会女性部

焼津美穂

焼津モラロジ

柳瀬智美

藪崎阿希子

山田果鈴

山田節子

山田弓子

山村さくら

山本幸奈

山本美和子

山本留美子

渡辺真利子

薬科喜久代

(平成23年6月から

平成23年11月まで

(以上敬称省略)

焼津福祉会を

支える会だより

支える会に

ご理解とご協力を

焼津福祉会を支える会

会長 五条 光男

昨年は、大震災、原発問題、台風被害と日本にとっても世界にとっても超特大の災害の年となりました。被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

復旧の見通しも未だつかず、心の傷も癒えないうちに新しい年を迎える訳ですが、平成24年はよい年であることを心より祈念するものであります。

私達、焼津福祉会を支える会は、焼津福祉会の事業に対しての後援活動をおこなっております。私達の周囲には、障がいを持つ人達が大勢居られ、そうした人達のために、少しでも役に立ちたいものと



支える会にご入会をいただいております。会員としては、個人は一口五〇〇円以上、法人の場合は一口五〇〇〇円以上となっております。現在大勢の皆さま方に会員になっただけいただいておりますが、更に一人でも多くの方に会員になっただけいただければと願うものであります。

すべての人が暮らしやすい、明るい社会をつくる為、今後とも活動を進めてゆきますので、皆さまの一層のご理解、ご協力をお願いいたします。

お店紹介



アルハ

焼津福祉会の自主製品は、市内のお店や観光協会でもご協力いただき販売しています。ぜひ、一度足を運んでみてください。



ジュサプロー



キラキラビレッジ直売所

お知らせ

第19回 焼津福祉会作品展

施設利用者の作品をより多くの皆様に
見ていただきたいと思います。
是非ご来場ください。

日時 平成24年2月16日(木)～19日(日)

会場 ふれあいギャラリー

焼津市本町5-643-3

時間 午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

内容 絵画・書・手工芸等



花・はな利用者

◆編集後記◆

新年明けましておめでとうございます。昨年は東日本大震災を始め、原発事故・世界各地における異常気象など、暗いニュースばかりが目立ちましたが、その一方で震災を通し、人とのつながりや、絆の大切さをより深く感じた1年でもありました。

今年は皆様にとって明るく、幸せ一杯の年となりますようお祈り申し上げます。

今後共、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。